平成27年4月1日

工事事故（速報）の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。
各事務（管理）所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。
本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

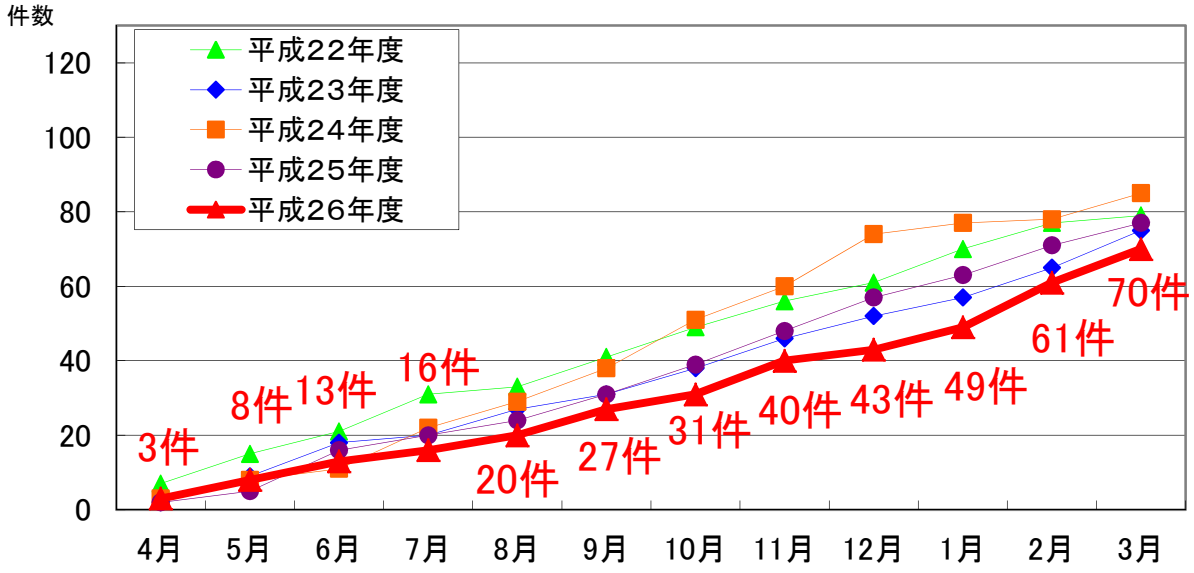
【工事事故（速報）発生状況】

（H27.3.31現在）

	3月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度（今年度）	9件	70件	**4人**	**26人**
平成25年度（昨年度）	6件	77件	**11人**	**32人**

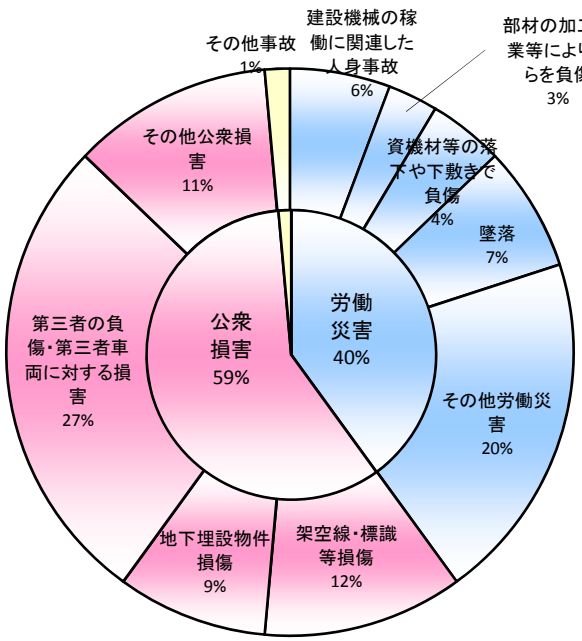
注1）上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数（速報）を示す。
注2）「3月発生件数」は、3/1～3/31の間に起きた件数。（月毎分）
注3）「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。（累計分）
注4）「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。
注5）平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計	7件	15件	21件	31件	33件	41件	49件	56件	61件	70件	77件	79件
（月毎）	(7件)	(8件)	(6件)	(10件)	(2件)	(8件)	(8件)	(7件)	(5件)	(9件)	(7件)	(2件)
平成23年度 累計	2件	9件	18件	20件	27件	31件	38件	46件	52件	57件	65件	74件
（月毎）	(2件)	(7件)	(9件)	(2件)	(7件)	(4件)	(7件)	(8件)	(6件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	3件	8件	11件	22件	29件	38件	51件	60件	74件	77件	78件	85件
（月毎）	(3件)	(5件)	(3件)	(11件)	(7件)	(9件)	(13件)	(9件)	(14件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
（月毎）	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	61件	70件
（月毎）	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(12件)	(9件)

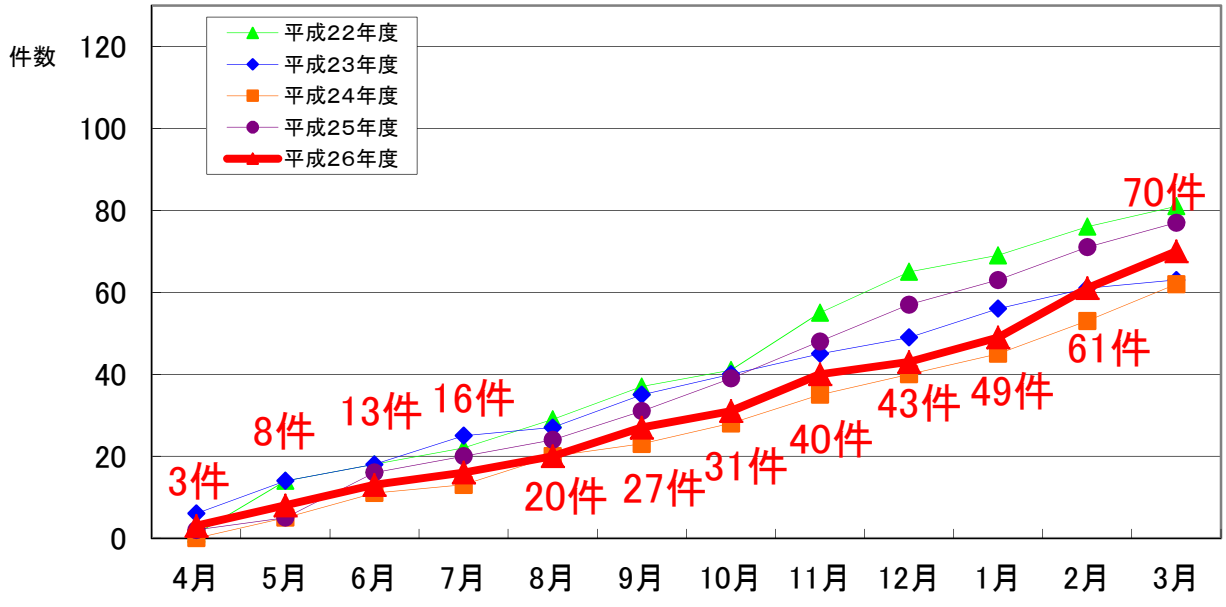
●平成26年度　工事事故発生状況（発生形態別）



	発生形態	H24	H25	H26	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	7	6	4	17
	部材の加工作業等により自らを負傷	0	5	2	7
	資機材等の落下や下敷きで負傷	9	6	3	18
	墜落	5	6	5	16
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	1	0	1
	その他労働災害	6	6	14	26
小計		27	30	28	85
公衆損害	架空線・標識等損傷	10	5	8	23
	地下埋設物件損傷	7	12	6	25
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	19	16	19	54
	その他公衆損害	19	10	8	37
小計		55	43	41	139
	その他事故	3	4	1	8
計		85	77	70	232

□ ‥H26年度重点的安全対策項目

（参考）工事事故のうち、「「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故」を除く事故件数
（車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数）

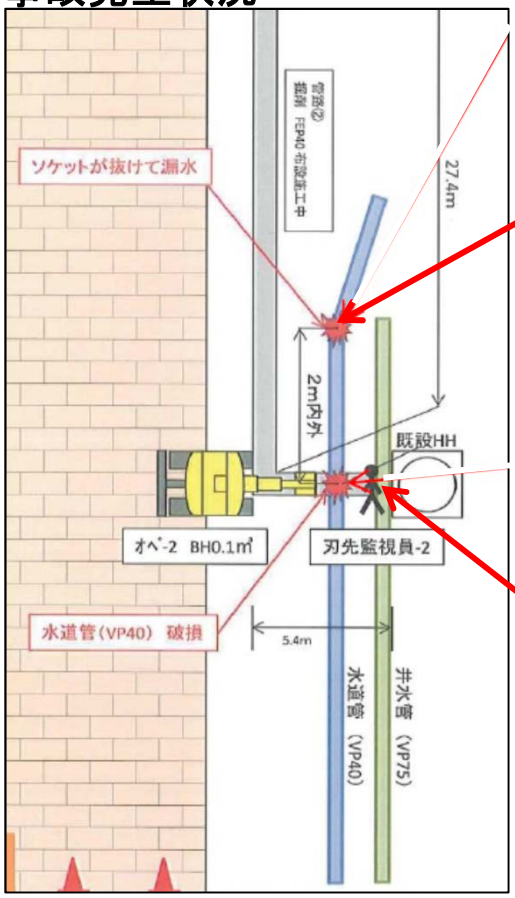


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
（月毎）	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度 累計	0件	5件	11件	13件	20件	23件	28件	35件	40件	45件	53件	62件
（月毎）	(0件)	(5件)	(6件)	(2件)	(7件)	(3件)	(5件)	(7件)	(5件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
（月毎）	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
（月毎）	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	61件	70件
（月毎）	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(12件)	(9件)

■問合せ先：企画部　技術調査課　遠藤・古賀　（TEL　048－600－1332）

発生日時	平成　27 年　3 月　2 日（月）　10 時　40 分			
工事情報	公園系事務所　造園工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	ー	ー	ー	漏水
事故概要	園内の電線管敷設のため、バックホウでの掘削作業中、水道管にバケットが接触し、管のジョイントが抜け、漏水させたもの。 公衆損害－地下埋設物件損傷			

事故発生状況



・公園内の空気膜構造遊具新設のための電気配管設置に伴う掘削作業をバックホウ（0.1m3級）で実施していた際、付近に埋設されていた水道管にバケットが接触し、水道管の接続部が抜け、漏水させた。

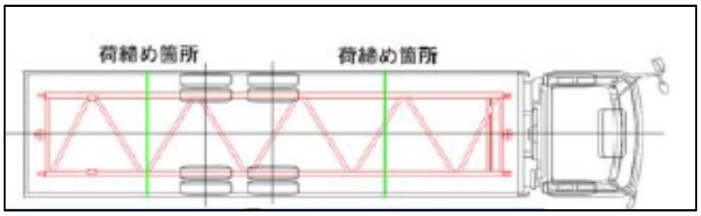
・当日は休園中であった。

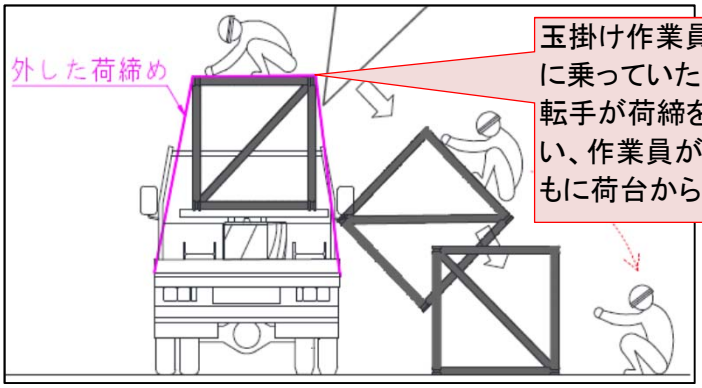
【事故発生原因】
・地下埋設物に対する注意不足
　など

【事故防止のポイント】
・地下埋設物が予想される箇所では、試掘等により事前確認を行うよう徹底する　など

発生日時	平成　27 年　3 月　5 日（木）　9 時 30 分			
工事情報	道路系事務所　一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	54	とび工	第二腰椎圧迫骨折
事故概要	クレーンのブームを回送車の荷台から荷下ろしするため、作業員が玉掛けしようとブームの上に乗っていたところ、ブームと一緒に荷台から転落し、負傷したもの。 労働災害－その他　工事関係者事故			

事故発生状況





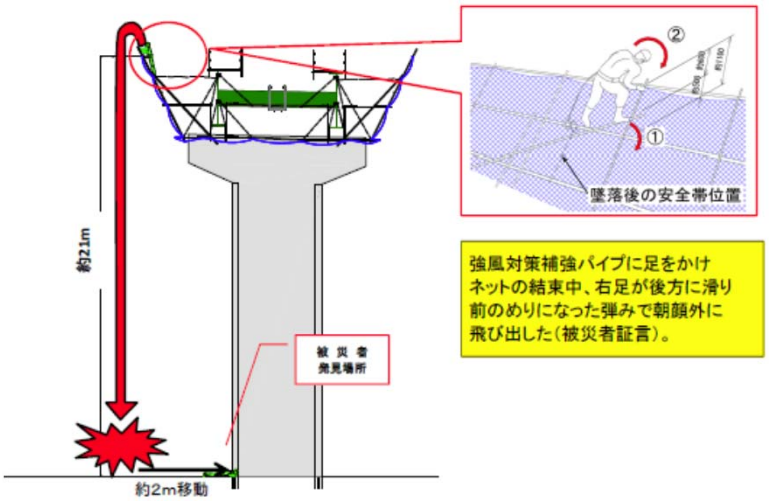
クローラクレーン組立時、ブームを車両から荷下ろしする為に玉掛けを行おうとした際、荷がアンバランス且つ人が荷の上に居るにもかかわらず、運転手が荷解きを実行したため、荷のバランスが崩れ、玉掛けをするために荷の上に上がっていた被災者が、荷と共に車両から転落した。

【事故発生原因】
・運搬方法（荷姿）が不安定であった
など

【事故防止のポイント】
・荷下ろし時に作業員間での合図、指示等を確認したうえで周囲に十分配慮
など

発生日時	平成　27 年　3 月　5 日（木）　19 時　15 分			
工事情報	道路系事務所　一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	24	現場施工管理	眼底骨・顔面・左手首骨折等
事故概要	検査用測定点のマーキング等をした後、朝顔ネットの不備を発見したため、その補修を朝顔から身を乗り出す体勢で行っていたところ、足が滑り体勢を崩して、約21m下の地面に落下し負傷したもの。 労働災害－墜落			

事故発生状況



強風対策補強パイプに足をかけネットの結束中、右足が後方に滑り前のめりになった弾みで朝顔外に飛び出した（被災者証言）。

・元請け職員3名で桁上にて検査用測定点のマーキング等をした後、2名が現場を退出し、残った1名で現場内の点検をしていた。

・残った元請け職員1名が朝顔ネットの不備を発見したため、その補修を朝顔から身を乗り出す体勢で行っていた。

・足が滑り体勢を崩して、約21m下の地面に落下し負傷した。

・頭から前のめりに落下し、安全帯から体がすり抜けた状況。

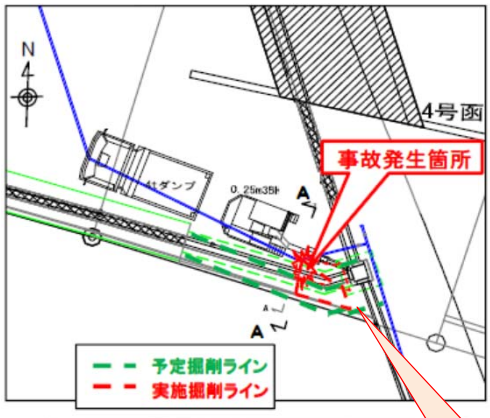
朝顔ネットの不備を発見し、その補修をおこなっていた（職務範囲外の単独行動）

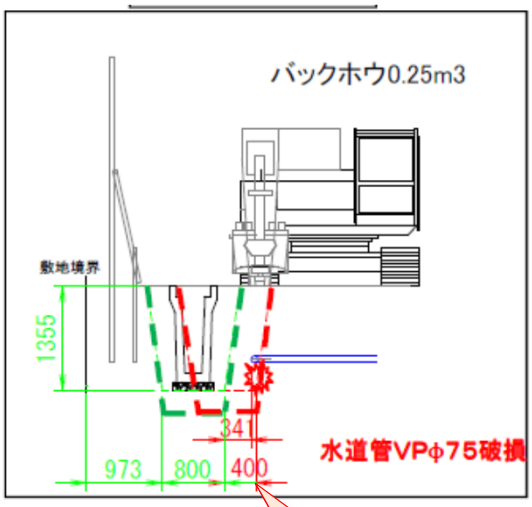
【事故発生原因】
・職務範囲外の作業及び単独行動を行った。
など

【事故防止のポイント】
・単独行動のリスク等の教育
・高所作業時には安全帯のゆるみがないように確実に締めるなどの装着の徹底を図る　など

発生日時	平成　27 年　3 月　7 日（土）　14 時　20 分			
工事情報	道路系事務所　一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	ー	ー	ー	水道管損傷（18軒断水、約1h）
事故概要	側溝工掘削作業時に、バックホウ0.25m3級のバケットにて、場内に仮切廻しをしていた境町水道管(VPφ75)を破損。 公衆災害－地下埋設物件損傷			

事故発生状況





当初の掘削ラインが分からない状態にあった。

作業手順書どおりの掘削を行っていない。

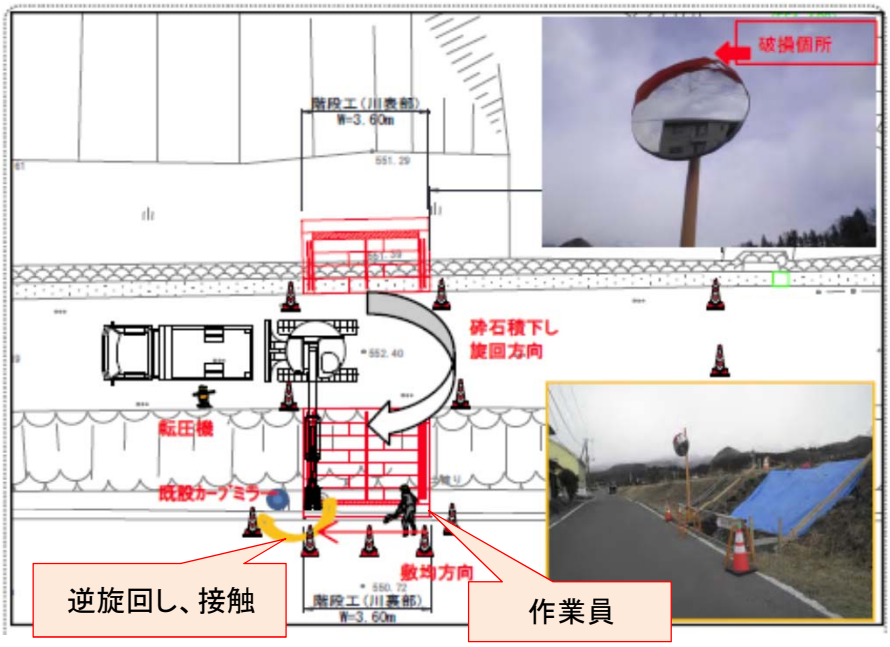
・側溝工掘削作業時に、バックホウ0.25m3級のバケットにて、場内に仮切廻しをしていた境町水道管(VPφ75)を破損。
・掘削前に掘削ラインを明示したが、作業時の機械等の移動により、ライン自体が分からなくなり、オペレーター・合図者が確認せずに掘削を進めてしまった。
・近隣家屋１８軒について約１時間の断水となった。

【事故発生原因】
・作業員間での連携不足
など

【事故防止のポイント】
・作業員間での事前確認・連携の徹底
など

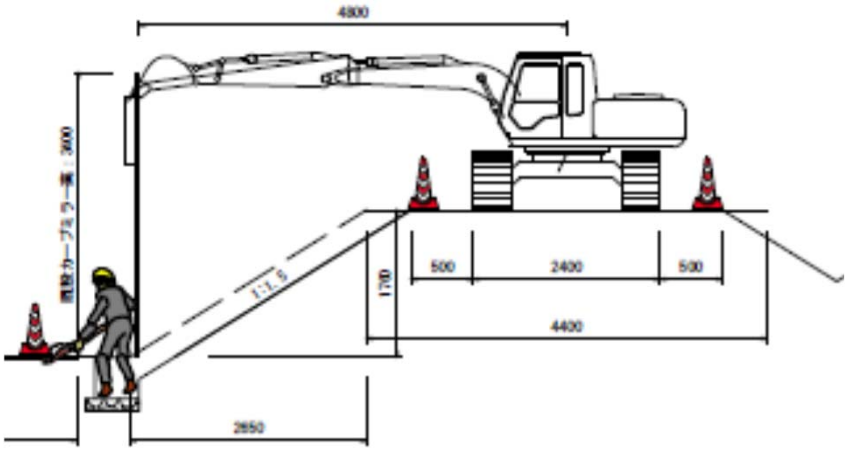
発生日時	平成　27 年　3 月　9 日（月）　11 時 40 分			
工事情報	河川系事務所　一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	―	―	―	カーブミラーの損傷
事故概要	大谷川堤防の階段工をバックホウで施工中、日光砂防宿舎出入口にあるカーブミラーにブームを接触させ、ミラーが損傷したもの。 公衆災害－その他公衆損害事故			

事故発生状況



・バックホウ(0．25m3級)にて堤防上より階段工基礎砕石施工していた。

・旋回方向に作業員がいたことから、逆旋回をしたところ、既設カーブミラーに接触し破損させた。

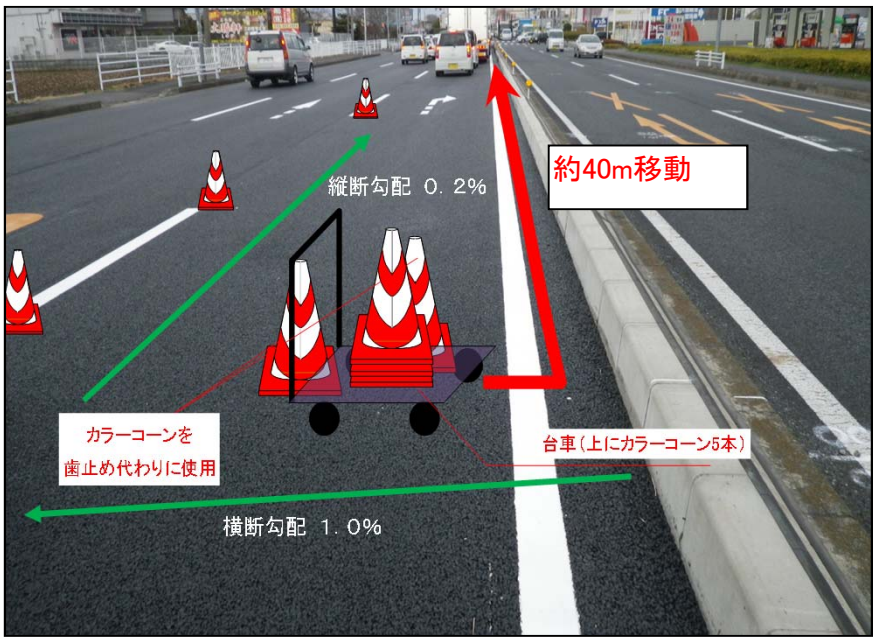


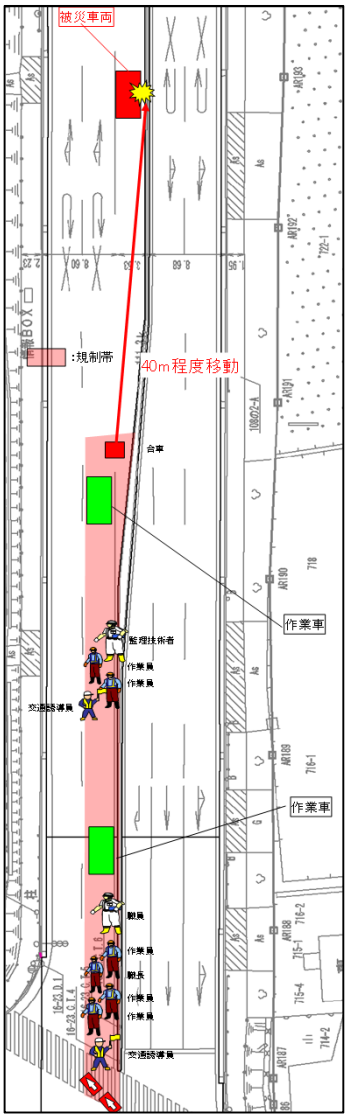
【事故発生原因】
・近接構造物に対する安全管理不足
　など

【事故防止のポイント】
・既設構造物付近での重機作業における注意を徹底する
　など

発生日時	平成　27 年　3 月　10 日（火）　16 時　0 分			
工事情報	道路系事務所　維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	―	―	―	―般車両損傷
事故概要	国道での区画線作業が終了後、後片付けのため、カラーコーンを台車に乗せていたところ、風に台車があおられて動いたところに走行してきた一般車両が接触し、損傷したもの 公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況





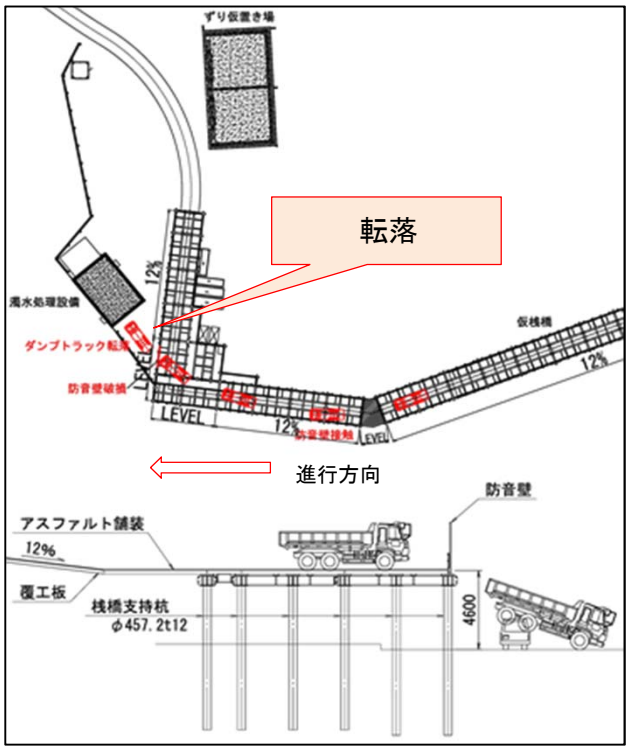
・切削オーバーレイ工後の区画線工を実施していた。
・規制帯に使用していたカラーコーンを片づけるために台車に乗せておいた。
・台車が風に流されて規制帯の外に出てしまい、信号待ちをしていた一般車両に接近して止まった。
・その後、車両の運転手がドアを開けた際に横に止まっていた台車にあたり、車両が損傷したものである。

【事故発生原因】
・第3者、現場周辺への安全管理対策不足
など

【事故防止のポイント】
・現場内並びに周辺は常に清掃、整理に努め、資機材、土砂等を散乱させないようにすること
など

発生日時	平成　27 年　3 月　13 日（金）　8 時　15 分			
工事情報	道路系事務所　一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	38	トンネル特殊工	頭部打撲・切傷
事故概要	ズリ運搬作業時、ズリ積載ダンプトラックが仮桟橋より転落（約4.6m）し、運転手が負傷したもの。 労働災害－建設機械の稼働に関連した人身事故			

事故発生状況



写真①　仮桟橋の状況

写真② 散水後の路面

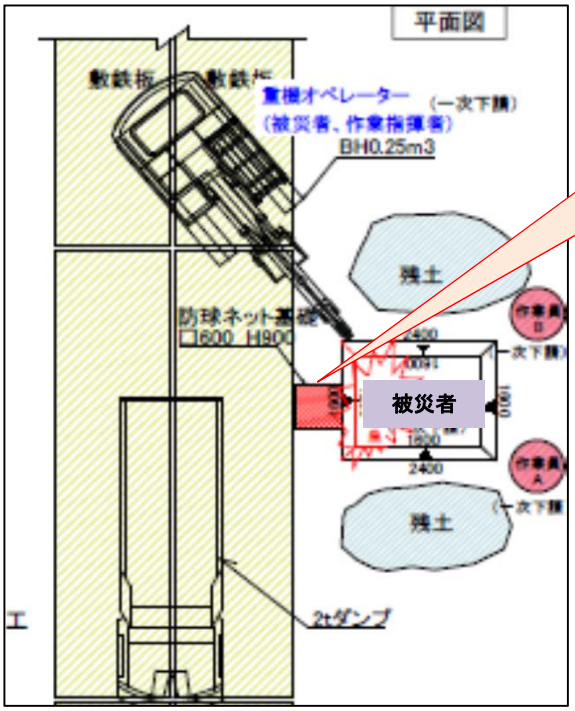
・トンネル掘削による掘削ズリを切羽（坑口から約20m）から延長約800mの工事用道路（仮桟橋）を使用してズリ仮置き場まで搬出する作業。
・工事用道路下段の直角屈曲部において、ズリ積載ダンプトラックが仮桟橋より転落（約4．6m）し、運転手が被災した。
・屈曲部手前においてスリップし、ハンドルがロックされブレーキが効かなくなり転落。
・事故当時、仮桟橋上は土砂分及び粉じん抑制のため散水した水により、路面が滑りやすい状況にあった。

【事故発生原因】
・運搬路上での安全対策不足
など

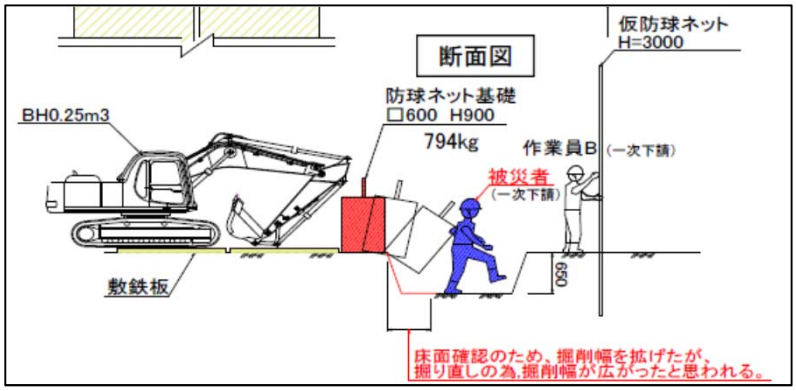
【事故防止のポイント】
・注意標識をたてる等及び運搬路の清掃等を徹底　など

発生日時	平成　27 年　3 月　18 日（水）　18 時　0 分			
工事情報	河川系事務所　一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	67	作業員	右足大腿骨骨折、肋骨骨折、肺損傷
事故概要	床掘りを行っていたバックホウオペレーターが出来栄えを確認するため床掘り箇所に入っていたところ、法肩が崩れ、置いてあった基礎ブロックがオペレーターの上に落下し、負傷したもの。 労働災害－資機材等の落下や下敷きで負傷			

事故発生状況



法面が崩落し、作業員の上に基礎ブロックが落下し、下敷きにな



・設置済みの防球ネット基礎ブロックの据直しが発生した。
・作業は「重機オペレーター兼 作業指揮者(被災者)」,「作業員A」,「作業員B(玉掛責任者)」の3名1班体制にて、通常作業と同様の役割分担で作業を進めた。

・設置済みの基礎ブロック周辺を再掘削した後に、基礎ブロックを撤去し通常作業と同様の場所に仮置きした。

・床付面を整形するための範囲を追加掘削したが、堀直し作業のため掘削幅が仮置きした基礎ブロックの近くまで広がる。

・掘削部に入ったが、この際仮置きした基礎ブロックが倒れてきて、ブロックの下敷きとなり負傷。

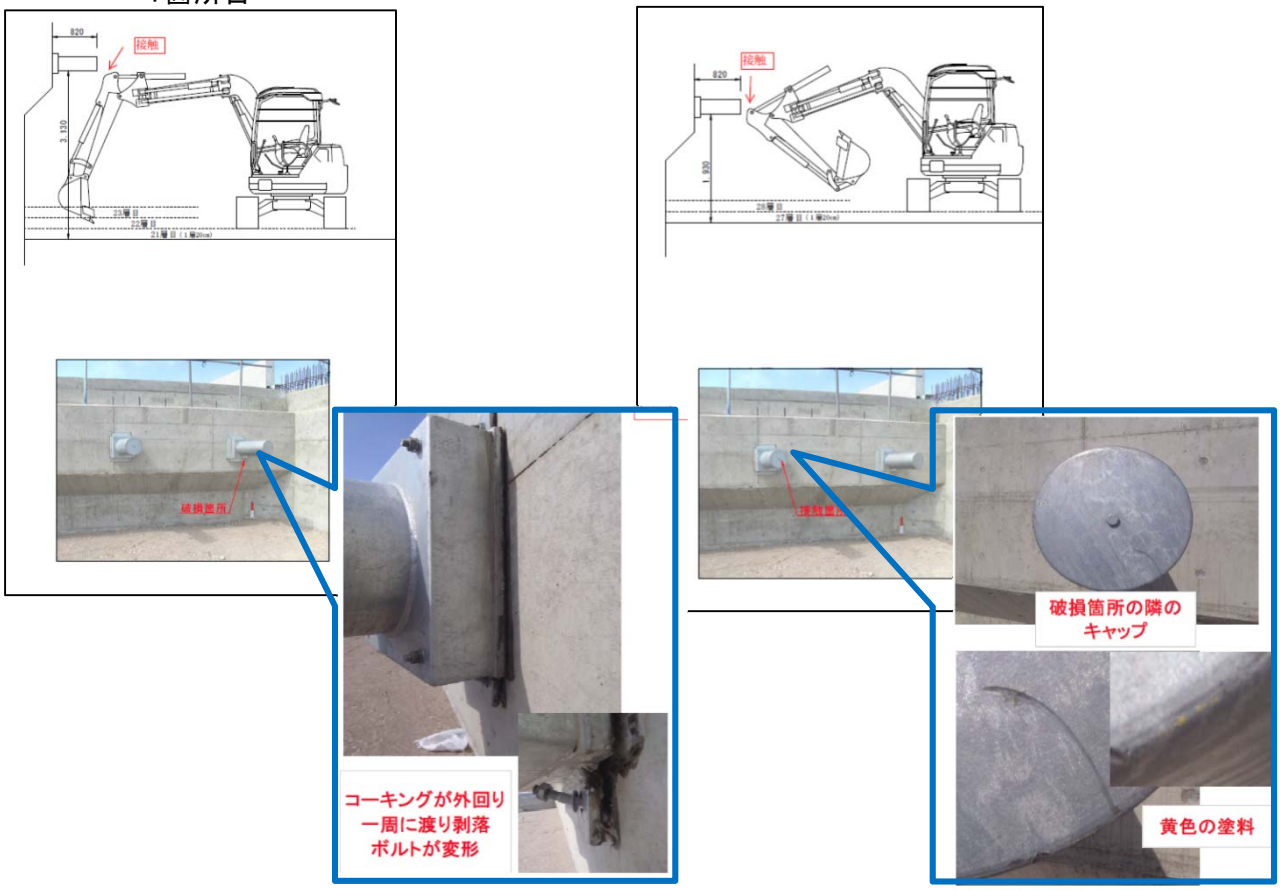
【事故発生原因】
・基礎ブロックの床堀作業についての危険性または有害性等の調査不足
など

【事故防止のポイント】
・リスク軽減対策を考慮した施工計画等の立案

発生日時	平成　27 年　3 月　23 日（月）　14 時　40 分			
工事情報	道路系事務所　一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	－	－	落橋防止装置の取り付け部2箇所損傷
事故概要	盛土作業を行っていたところ、隣接工区の落橋防止装置の取り付部を損傷させた。（2箇所） 公衆損害－その他　公衆損害事故			

事故発生状況

1箇所目



2箇所目

・橋台背面盛土作業時、他工事にて設置した、落橋防止装置にバックホウのブームが接触し、損傷させた（2箇所）

【事故発生原因】
・近接構造物に対する安全管理不足
　など

【事故防止のポイント】
・既設構造物付近での重機作業における安全対策等を徹底する
　など